

市の鳥



カワラビワ

# 広報 **えびな**

編集・発行  
海老名市役所広報広聴課  
〒243-04  
神奈川県海老名市勝瀬175  
☎ (0462) 31-2111

## 余熱利用で健康増進



### 屋内温水プールが完成

オープンが6月1日



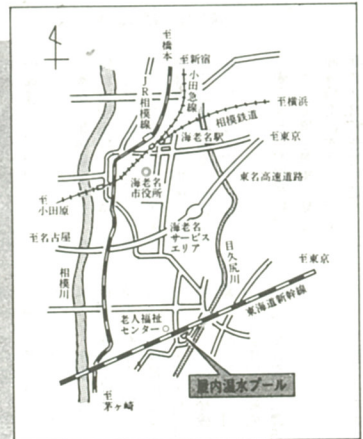
高圧清掃施設組合が、去年から建設していた屋内温水プールが完成し、6月1日からオープンします。このプールは、同組合が処理しているごみの焼却余熱を利用したもので、健康づくり、レクリエーションの場として子供から大人までが楽しめる施設です。ぜひ、みなさんお気軽にご来場ください。

海老名、座間、綾瀬の三市で構成する高圧清掃施設組合が、同敷地の北東部に位置する目久尻川沿いに、去年から建設を進めていた屋内温水プールがこのほど完成し、五月二十二日に落成記念式典を行い、六月一日から一般に開放されます。

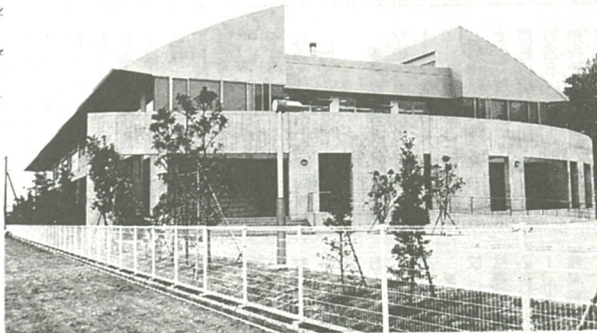
この屋内温水プールは、敷地面積約六千七百平方メートル。鉄筋コンクリート一部鉄骨造り地上二階建てで、延床面積は約三千万

方、建設費は約十五億八千万円でした。

この施設の最大の特徴は、ごみの焼却余熱による蒸気を熱交換し温水にしているため、燃料費が節約できることと、上下二槽の循環回流水の流れるプールが併設されていることです。



モダンな外観(右)の温水プールは1年中泳げます(上)



会議室、ロビー、自販機コーナーなどとなっています。

高圧施設組合屋内温水プールへは、小田急・JR相模線厚木駅からバスを、利用ください。同駅から一長後・藤沢行で用田橋下車、徒歩約八分です。(高圧施設組合屋内温水プールの利用方法は4面に掲載)

施設の内容は、一階に二十五メートル(6コース)、子供・幼児用プール、流水プール、採暖室、浴室、シャワー室、更衣室、エントランスホール、受付など。二階は健康ルーム、休憩室、





# 6月の健康案内



急患の  
ごきは...



医師会の協力を得て  
次の救急医療を行っています。

### ☆休日の昼間

▶内科・小児科 ▷場所=休日急患診療所  
(さつき町41、市健康センター内、☎31・1912)  
▷受付時間=日曜・祝日の午前9時~11時半、  
午後2時~4時半  
▶歯科 ▷場所=休日歯科診療室(さつき町41、  
市健康センター内、☎31・1939)▷受付時間=日曜・  
祝日の午前9時~11時半、午後2時~4時半  
※保険証、診察料を忘れず。耳鼻咽喉科は市外の休日急患診療所を紹介いたします。

☆夜間 テレフォンサービスで医療  
機関を紹介いたします。☎32・0108、32・0119、または市役所☎31・2111。

### 急病でない限り平日の昼間に

### 市民歯科相談

六月四日から十日は、歯の全国衛生週間です。市では新たに六月から、歯科の疾病の早期発見・予防を図るため「市民歯科相談」を開設します。すでに開設している「市民医療相談」「健康相談」を含め三相談に充実させました。お気軽にご利用ください。

### 健康相談

六月の相談開設日は、毎週火曜・木曜日です。▽場所 保健相談センター▽申し込み 電話で同センターへ予約を。

### 市民医療相談

治療上の悩みや医師へのかかり方など、医療全般についての相談を受け付けています。相談のつくづくさるるの、東海大学医学部名誉教授・日本産科婦人科学会評議員の藤井明和先生です。

### 父親教室

六月十六日(水) 保健相談センター、午前九時~九時半受付

### がん集団検診

六月五日(土) 大谷小学校で次の五種類の検診を行います。▽胃がん ▲午前八時半~十一時受付▽対象 四十歳以上の方▽内容 胃部エックス線間接撮影▽受診料 五百円。▽大腸がん(胃と併用) ▲午前八時半~十一時受付▽対象 四十歳以上の方▽内容 胃部エックス線間接撮影▽受診料 五百円。

### 高脂血症予防教室

六月八日(水)・十五日(火)の二日間、保健相談センター、各日とも午後一時~一時半受付で午後二時半~三時半▽対象 コレステロールが気になる方▽内容 高脂血症の症状と予防、生活指導、食事指導▽講師 市医師会医師、保健婦、栄養士▽申し込み 問い合わせ 電話で同センターへ予約を。

### 予防接種

◇日本脳炎◇日程は左表のとおりで、いずれも午後一時半~二時半受付(時間厳守)▽対象 方法 満三歳~七歳未満のお子さん(一週間の間隔で二回接種)その約一年後にもう一回接種▽申し込み 母子健康手帳と予防接種届診票(会場でも配付)を持って、直接会場へ申し込み。保健相談センターへ問い合わせ。

### 献血

査▽受診料 百円。▽乳がん・子宮がん ▲午前八時半~十一時午後一時~一時半受付▽対象 三十歳以上の女性▽受診料 乳がんは問診と触診で百円、子宮がんは問診、細胞診、頸がん検査(内診)の三検診で四百円。この三検診と体がん検査(問診の結果が必要と判定された方のみ)で四百円▽その他 結核などの胸部の病気が早期発見でき、また、保健康相談センターへ。

### 日本脳炎予防接種の日程

会場	日	種
社会児童館	6月15日(水)	6月29日(火)
社会児童館	6月18日(土)	7月1日(木)
国分寺児童館	6月22日(月)	7月2日(日)
国分寺児童館	6月23日(火)	7月6日(木)
保健相談センター	6月25日(木)	7月7日(金)
保健相談センター	6月28日(日)	7月9日(日)

### 乳幼児の健診と相談

事業名	月日・受付時間	会場	対象	内容	問い合わせ	申し込み
3カ月児健康診査	6月24日(水) 13:00~14:00	厚木保健所海老名支所	5年2月生まれの人	診察、身長・体重測定	厚木保健所海老名支所	直接会場へ
7カ月児健康相談	6月25日(木) 9:30~10:00	保健相談センター	4年10月生まれの人	身長・体重測定、栄養・育児・歯科相談	保健相談センター	〃
1歳6カ月児健康診査	6月17日(水) 13:00~13:30	〃	3年12月生まれの人	診察、身長・体重測定、歯科検診	〃	〃
3歳児健康診査	6月18日(木) 13:00~14:00	厚木保健所海老名支所	2年5月生まれの人	診察、身長・体重測定、歯科検診、尿検査	厚木保健所海老名支所	〃
離乳食講習会	6月11日(金) 9:30~10:00	保健相談センター	5カ月~7カ月児を持つお母さん	離乳食のつくり方	保健相談センター	〃
障害児歯科相談	6月2日(水) 13:30~15:00	厚木保健所海老名支所	6歳未満	歯科相談	〃	予約制
幼児歯科相談	6月16日(水) 13:00~14:30	〃	1歳7カ月児~2歳11カ月児	歯の検診とみがき方(歯ブラシ持参)	〃	〃
小児整形外科相談	6月3日(水) 13:00~13:30	〃	乳幼児(18歳まで可)	身体障害のある乳幼児の早期発見、治療と療育指導	〃	〃
お誕生前健康診査	対象は生後10カ月からお誕生日前までの乳幼児。指定された医療機関でお受けください。					

※検診または相談を受ける方は必ず母子健康手帳を持参してください。

## 「市民歯科相談」の開設

### 各相談をお気軽にご利用ください

六月四日から十日は、歯の全国衛生週間です。市では新たに六月から、歯科の疾病の早期発見・予防を図るため「市民歯科相談」を開設します。すでに開設している「市民医療相談」「健康相談」を含め三相談に充実させました。お気軽にご利用ください。

### 市民歯科相談

六月の相談開設日は、毎週火曜・木曜日です。▽場所 保健相談センター▽申し込み 電話で同センターへ予約を。

### 歯科検診相談

健康的な食生活を営むためには歯が大切です。歯の衛生に関する正しい知識と歯科疾患の予防を目的として行われます。市歯科医師会では、歯の衛生全般の検診・相談を無料で次のとおり受け付けます。【検診・相談日】▽日 六月六日(日) 午前十時~午後三時▽会場 スルガ銀行海老名支店駐車場(海老名駅東口・中央公園並び)▽申し込み 当日、直接会場へ。

### 予防接種

◇日本脳炎◇日程は左表のとおりで、いずれも午後一時半~二時半受付(時間厳守)▽対象 方法 満三歳~七歳未満のお子さん(一週間の間隔で二回接種)その約一年後にもう一回接種▽申し込み 母子健康手帳と予防接種届診票(会場でも配付)を持って、直接会場へ申し込み。保健相談センターへ問い合わせ。

## 6月の文化会館

日(曜)	内容	開演	終了	入場方法	主催者
6(日)	市文化団体連合会 春季文化祭	10:00	17:00	自由	市文化団体連合会 (38)4678
12(土)	海老名高校吹奏楽部 定期演奏会	14:30	16:30	自由	県立海老名高校吹奏楽部 (32)2231
14(月)	第37回例会 劇団たんぽぽ 「ルドルフとイッパイアッテナ」	18:30	20:15	会員制 (当日入会可) 900円	海老名おやこ劇場 (32)0307
17(木)	第33回観劇会 こまつ座公演 「イーハトーボの劇列車」	18:00	21:00	会員制 (当日入会可) 4,100円	海老名演劇鑑賞会 (34)2766
18(金)	座間吹奏楽愛好会 スプリングコンサート	17:00	19:00	400円	座間吹奏楽愛好会 0427(71)3665
19(土)	自主事業 「神野美伽ショー」	14:00 16:00 18:00	16:00 20:00	A席 3,500円 B席 3,000円	市文化会館事業協会 (32)3231

○問い合わせは主催者へ。 ○主催者の都合で変更になる場合もあります。 ○関係者だけの催しは掲載していません。 ○今月の休館日は1、8、15、22、29日です。

## ◆プレイ・ガイド◆ 神野美伽ショー

▽とき 6月27日(日)午後2時から午後6時からの2回公演▽ところ 市文化会館(☎32・3231)▽入場料 A席3500円、B席3000円(全席指定、好評前売り中)▽主催 海老名市・市文化会館事業協会。 ※自主事業のチケット販売は、市文化会館のほか、グリーンほけっと(相鉄海老名駅)、ミロード・プレイガイド(本厚木ビル1階)、厚木音楽文化協会(厚木商工会議所2階)でも扱っていますので、ご利用ください。



### 赤ちゃん

とかわいがられています。元気で、性格のかわいい子に育って欲しい。  
波辺 彩菜ちゃん  
杉久保 一歳  
渡辺 雅美さん



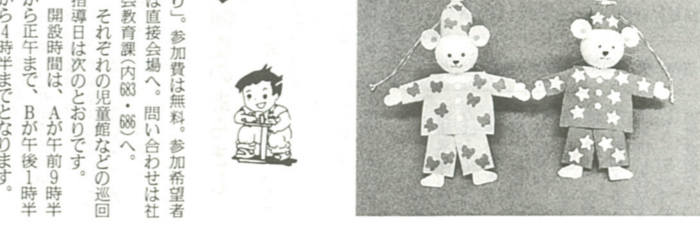
性格は、活発で明るく、たれにもよくしゃべります。動物が大好き。猫を見つめるのが大好き。最近、テレビのコーナー「動物が大好き」をみて、追いかけています。また、ミッキーマウスや、曲がかわるの音が好きです。先日、水戸黄門の主題歌に合わせて踊っていたのにはびっくり。心の優しい、たれからも好まれる子に育って欲しい。



### 父の日のプレゼント

~6月の日程~

## みんなの児童館



- ◇国分児童館 4日B、9日B、19日B、25日B
- ◇大谷児童館 2日B、8日B、16日B、30日B
- ◇国分寺児童館 2日B、8日B、18日B、23日B
- ◇河原口児童館 4日B、11日B、16日B、25日B
- ◇上郷児童館 1日B、10日B、16日B、22日B
- ◇社会児童館 2日B、9日B、15日B、22日B
- ◇杉久保児童館 3日B、9日B、19日B、29日B
- ◇本郷児童館 13日A、20日A、29日B
- ◇門元児童館 2日B、10日B、23日B、30日B
- ◇上河内児童館 4日B、12日B、22日B
- ◇勝浦文化センター 2日B、13日A、19日B、23日B
- ◇柏ヶ谷コミュニティセンター 1日B、8日B、16日B、23日B
- ◇新田コミュニティセンター 1日B、11日B、16日B、22日B
- ◇今泉コミュニティセンター 1日B、9日A、15日B、29日B
- ◇今泉自治会館 3日B、9日B、18日B、30日B
- ◇今泉自治会館 8日B、27日A

### 作ってみませんか！ 「JH」のカーアクセサリー

【用意するもの】  
①色画用紙②はさみ③のり④糸⑤フェルトペンまたはカラーサインペン

【作り方】  
①左の図のように型紙を切り取ります。②糸を二股ずつ、のりで重ねて貼ります。③スポンジ一枚の下部左右にくつを貼り、もう一枚のスポンジを重ねて貼ります。④上着のボタンを裏に重ねて貼ります。⑤スポンジの裏面にスポンジを貼り、もう一枚のスポンジを重ねて貼ります。⑥帽子の先端にボタンを裏に重ねて貼ります。⑦髪の毛、目、口、ホッパンを貼ります。⑧糸を上着のボタンと帽子の先端に重ねて貼ります。⑨糸を縫い止めます。⑩糸を縫い止めた糸を、帽子の間に縫い止めます。

上着 2枚  
ズボン 2枚  
帽子 2枚  
えり 2枚  
顔 1枚  
手 2枚  
ボンボン 2枚



5年ぶりに行われた地蔵祭

### 家内安全を祈る

上今泉三丁目地蔵祭  
○●●●○  
家内安全や豊作、長命をかな  
えくれるお地蔵様の大祭が四

月二十四日、上今泉三丁目の小  
字涯(かけ)地区で行われた。  
県道杉久保間線沿いにある  
この「岩船地蔵尊」は、約二百  
八十年前、大飢饉や疫病で亡  
くなった人々のめい福を折って  
建立され、以後は定期的な念仏  
供養が行われていた。  
今年の大祭は、昭和六十三年

### 昼食楽しんで！

お年寄り41人が満足  
○●●●○

四月二十七日、市内に住んで  
いる六十五歳以上のひとり暮らし  
のお年寄りが、大船フラワー  
センター(鎌倉市)に、春の遠  
足。この遠足は「ひとり暮らしの  
老人 昼食を楽しむついで」の一  
環として行われたもので、ポ  
ランティアの人たちを含め四十  
一人が参加した。



木陰に集まりのんびりと昼食

## フォトピックス



数々の植木や草花が即売に...

### 春の花いっぱい

市庁舎で緑化まつり  
○●●●○

みどりゆたかなまら  
づくり、をテーマに、  
四月二十五日、市役所  
周辺で「第九回海老名  
市緑化まつり」が行わ

れ、約二万人が来場した。  
会場では植木、草花、野菜の  
販売、盆栽展のほか、ウメや  
ブラムの苗、黒土などの無料配  
布が人気を集めた。  
また、ミニバス乗車会、相州  
海老名東柏太鼓の実演、今泉中  
学校ブラスバンド部の演奏も行  
われ、会場の雰囲気盛り上げた。  
庁舎東側のレンゲ畑では、子  
ウシやウサギなどにふれること  
のできるミニ動物園が開かれ、  
家族連れでにぎわった。

### 甘くておいしい！

中河内イチゴ摘み  
○●●●○

摘みだすイチゴがその場で  
食べられる観光農園が、四月十  
七日から中河内の農家四軒の温  
室で行われている。

中河内イチゴ摘み組合(遊作  
精一組合長)では、市名産のイ  
チゴのPRを兼ねて十二年前か  
ら温室を解放、固定客も年々増  
えている。

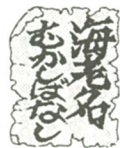


ハウスの中で食べるイチゴはまた格別

## 海老名むかしむかし

☎33・3838

電話で海老名の昔ばなしが聞けます。  
4月27日～5月17日 第136話 弁天様のお使い  
5月18日～6月7日 第137話 いたちに見の代  
りなをさせた後



第302話

### 女日待ち

海老名の農家には、「お日待  
ち」という集まりを持つ風習  
があった。夜待ちというのは、  
本来、前の夜から体を清めて  
日の出を待つて拝むことだ  
が、農村では田植えや稲の取  
り入れが終わった後など、仕  
事がひと区切りついたときに  
隣近所の人たちが集まって食  
食し、世間話などする会とい  
う意味に使われた。  
農村の仕事は一年中区切り  
なく続くので、休日をきちんと  
と取るのが出来なかったから、  
しばらくふりに雨が降ると  
と臨時に休日にすることがあ  
った。そうしたとき、部落の  
常使(注)が、  
「今日は休日よーっ」と、  
と大きな声で触れ歩いた。  
これが「おしめり正月」で、  
骨休などと言って家中での  
んびり休養したが、最寄りの  
家々が話し合ってお日待ちを  
することもあり、  
「良いおしめりですね」  
などと言葉を交わしながら  
決められた宿へ集まった。午  
後から夜にかけてのにぎやか  
な集まりだったが、それは大  
抵男だけで、女は参加しな  
かった。女と鍋釜には休日がな  
い」とよく言われた言葉だ  
が、おしめり正月でも食事の  
支度をしなければならず、後  
片付けもしなければならず、  
農村の主婦には全く休む日  
がなかったのだ。女だけが集  
まるために作った休日が女日  
待ちで、秋の餅出しが済む  
と、どこかの家でまとまった  
金が入り、次の農繁期ま  
でにひと息入れるにはよい時



期なので、女日待ちは大抵こ  
の時期に持たれて、女衆たち  
には心も体も安らぐ。命の洗  
濯。だった。  
「お話し講」と呼ぶ地域も  
あったが、くつろいだ楽しい  
集まりなのでみんな都合をつ  
けてよく集まった。しかし、  
家族の仕立を済ませてから集  
まり、夕食に支障のない時間  
とまではまだ遠くない集まり  
であった。  
そのころ、農家の住宅は大  
抵田の字造りだったが、炊事  
場と食事をする場所を接近さ  
せるため、お勝手間に続き  
て土間に床を張り出しておく  
家が多かつたが、この  
張り出した板の間は、  
隣近所のかみさんたち  
の内輪茶の飲み場でも  
あった。  
男尊女卑の時代では「おしめ  
り正月」が常習的に行われた  
という奥の  
間は、女衆  
たちの集ま  
りには使わ  
なかつた  
が、この張  
り出した板  
の間は主婦  
の管理下にあつたので、戸主  
といえども女日待ちは一切口  
出ししないことになつてい  
た。従つてこのだけは、しば  
しの女天国だった。  
こうした女日待ちの席は、ど  
こで知るか呉服類や小間物  
の行商人などがよく顔なじみ  
の親の代から、という顔なじ  
けが多く、重ねて行李から取り  
出した品物を並べて、言葉  
巧みに売り込んだ。  
当時の婦人は、冠婚葬祭な  
ど改まった席へはみんな和服  
に日本髪で出たので、身の回  
りの品々の中でも髪に関係の  
あるものに特に関心が強く、  
年齢にかかわらず平生の根  
掛け、手鏡(注)、髪、丈長(注)、  
盆踊りの歌なども披露された  
が、それ以上に自分たちの生  
で、こうした場所ではよく別  
けた。  
女日待ちは小間物行商人に  
は書き入れ時だったが、女衆  
たちにとっても金が入った矢  
先だったので、こうしたもの  
を買いたいには何よりよい  
機会だった。  
農家には年中行事として地  
神講、庚申講などいろいろな  
集まりがあつたが、みんな男  
たちだけの休日で、二百十  
板の間に過ぎるようにと風神  
を祭る風習も、実際は男たち  
の飲み場の集まりだった。  
地域によっては、こうした  
席で「ちよばい」という博  
奕が行われたというが、女日  
待ちでも「ほっぴき」とい  
う賭けごとが常習的に行われ  
た地域があつたそうである。  
ある老人が話のついでに、  
「あの地域には賭けごとの  
好きな筋が多い」  
と言つたことがあつたが、  
そうした家系があるのもし  
れない。  
博奕は悪いことだと常々言  
い聞かされていたので、ほっ  
ぴきが嫌悪感が先走り、遊び  
方など全く聞く気がせず聞き  
流してしまつたが、今になつ  
てみると、もっと詳しく聞い  
ておけばよかつたと思つた。  
注 常使：村で手当てを  
出して雇つておく連絡員  
注 手鏡：丸髷などの根本  
に用いて髪を高くする  
注 丈長：髪や髪を高くす  
るための巻紙の一種  
(小島 直司)

海老名の農家には、「お日待  
ち」という集まりを持つ風習  
があった。夜待ちというのは、  
本来、前の夜から体を清めて  
日の出を待つて拝むことだ  
が、農村では田植えや稲の取  
り入れが終わった後など、仕  
事がひと区切りついたときに  
隣近所の人たちが集まって食  
食し、世間話などする会とい  
う意味に使われた。  
農村の仕事は一年中区切り  
なく続くので、休日をきちんと  
と取るのが出来なかったから、  
しばらくふりに雨が降ると  
と臨時に休日にすることがあ  
った。そうしたとき、部落の  
常使(注)が、  
「今日は休日よーっ」と、  
と大きな声で触れ歩いた。  
これが「おしめり正月」で、  
骨休などと言って家中での  
んびり休養したが、最寄りの  
家々が話し合ってお日待ちを  
することもあり、  
「良いおしめりですね」  
などと言葉を交わしながら  
決められた宿へ集まった。午  
後から夜にかけてのにぎやか  
な集まりだったが、それは大  
抵男だけで、女は参加しな  
かった。女と鍋釜には休日がな  
い」とよく言われた言葉だ  
が、おしめり正月でも食事の  
支度をしなければならず、後  
片付けもしなければならず、  
農村の主婦には全く休む日  
がなかったのだ。女だけが集  
まるために作った休日が女日  
待ちで、秋の餅出しが済む  
と、どこかの家でまとまった  
金が入り、次の農繁期ま  
でにひと息入れるにはよい時

期なので、女日待ちは大抵こ  
の時期に持たれて、女衆たち  
には心も体も安らぐ。命の洗  
濯。だった。  
「お話し講」と呼ぶ地域も  
あったが、くつろいだ楽しい  
集まりなのでみんな都合をつ  
けてよく集まった。しかし、  
家族の仕立を済ませてから集  
まり、夕食に支障のない時間  
とまではまだ遠くない集まり  
であった。  
そのころ、農家の住宅は大  
抵田の字造りだったが、炊事  
場と食事をする場所を接近さ  
せるため、お勝手間に続き  
て土間に床を張り出しておく  
家が多かつたが、この  
張り出した板の間は、  
隣近所のかみさんたち  
の内輪茶の飲み場でも  
あった。  
男尊女卑の時代では「おしめ  
り正月」が常習的に行われた  
という奥の  
間は、女衆  
たちの集ま  
りには使わ  
なかつた  
が、この張  
り出した板  
の間は主婦  
の管理下にあつたので、戸主  
といえども女日待ちは一切口  
出ししないことになつてい  
た。従つてこのだけは、しば  
しの女天国だった。  
こうした女日待ちの席は、ど  
こで知るか呉服類や小間物  
の行商人などがよく顔なじみ  
の親の代から、という顔なじ  
けが多く、重ねて行李から取り  
出した品物を並べて、言葉  
巧みに売り込んだ。  
当時の婦人は、冠婚葬祭な  
ど改まった席へはみんな和服  
に日本髪で出たので、身の回  
りの品々の中でも髪に関係の  
あるものに特に関心が強く、  
年齢にかかわらず平生の根  
掛け、手鏡(注)、髪、丈長(注)、  
盆踊りの歌なども披露された  
が、それ以上に自分たちの生  
で、こうした場所ではよく別  
けた。  
女日待ちは小間物行商人に  
は書き入れ時だったが、女衆  
たちにとっても金が入った矢  
先だったので、こうしたもの  
を買いたいには何よりよい  
機会だった。  
農家には年中行事として地  
神講、庚申講などいろいろな  
集まりがあつたが、みんな男  
たちだけの休日で、二百十  
板の間に過ぎるようにと風神  
を祭る風習も、実際は男たち  
の飲み場の集まりだった。  
地域によっては、こうした  
席で「ちよばい」という博  
奕が行われたというが、女日  
待ちでも「ほっぴき」とい  
う賭けごとが常習的に行われ  
た地域があつたそうである。  
ある老人が話のついでに、  
「あの地域には賭けごとの  
好きな筋が多い」  
と言つたことがあつたが、  
そうした家系があるのもし  
れない。  
博奕は悪いことだと常々言  
い聞かされていたので、ほっ  
ぴきが嫌悪感が先走り、遊び  
方など全く聞く気がせず聞き  
流してしまつたが、今になつ  
てみると、もっと詳しく聞い  
ておけばよかつたと思つた。  
注 常使：村で手当てを  
出して雇つておく連絡員  
注 手鏡：丸髷などの根本  
に用いて髪を高くする  
注 丈長：髪や髪を高くす  
るための巻紙の一種  
(小島 直司)